

演劇集団非常口25周年記念公演は、
四畳半とバス停を行き来しながら
ひとつの「物語」としてお届けします。

異なる世界は、やがてひとつの道になる――

作・演出 島田 佳代

十二年ぶりの再演

四畳半の翅音

はとお

九州では胸糸病（きょうしびょう）という病が流行
していた。

感染者はデラシネ区域（D区域）に建てられた施設
に強制収容される運命にあった。

ある日、D区域近くのアパート日ノ丸荘に根岸響子
が引っ越してくる。

新作短編

十二月、バス停で 蕎麦を食べる

十二月。田舎町のバス停。

旅の男がバスを待っていると、レッカー車を待つ女
と猫が現れる。

バスもレッカー車もなかなか来ない。

ふたりはやがて、それぞれの記憶を語り始める。

寒空の下、猫が話をきいている。



2025.12.6 (土) - 12.7 (日) 伊佐市文化会館大ホール舞台上特設小劇場

〒895-2521 鹿児島県伊佐市大口鳥巢305

【日程】 ※開場は開演時間の30分前

	11:00	15:00	19:00
12.6 (土)			
12.7 (日)			

【スタッフ】

音響：内園田 仁美 / 照明：川田 京子（ユニークブレーン）
舞台美術・制作：西 和博 / 小道具：石神 朋子
衣装・メイク：川村 美由喜・平 愛 / 宣伝美術：西元 麻子

【チケット】 発売日 2025年9月1日(月)

一般 前売 2,000円 (当日 2,500円)
高校生以下 前売 1,000円 (当日 1,500円)
ベ ア 前売 3,500円 ※枚数限定・前売のみ
※未就学児は入場できません

【チケット取り扱い】

演劇集団非常口 (制作：西 090-9566-4231)
MUSIC PLAZA オニツカ
(大口元町20-6・0995-22-0302)
パン工房ながの (大口目丸541・0995-22-4738)
大口温泉高熊荘 (大口木ノ氏1278-12・0995-22-0989)

演劇集団非常口 プロフィール

2001年3月、大口明光学園高校演劇部OGを中心に旗揚げ。鹿児島県伊佐市でただひとつの劇団として活動が続けている。2011年、代表・島田佳代が『四畳半の翅音』で第3回九州戯曲賞大賞を受賞。2013年、同作品で初となる県外公演を行い好評を博す。2014年上演の『乗組員』で北海道戯曲賞優秀賞を受賞。2016年上演の『チャチャトゥールの穴』で久留米シティプラザ・めくるめくエンゲキ祭に参加。2018年に第19回公演として東京こまばアゴラ劇場と伊佐市で上演した『鱗の宿』は2017年度北海道戯曲賞の最終候補作品に選出された。自主公演の他、だれやめ狂言『大工の落書』（作・演出 西上寛樹）への出演、市民劇団「劇団いさ」の企画・運営など、地域に根差した活動を展開している。
「指す芝居は「囃めば囃むほど味が出るスルメ系」。



じゃじゃ馬と丙午(2019)

